令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 07 信頼に応える行政運営

施策 01 適正な行財政運営の推進

主管課： 企画課

関係課： 財政課、議会事務局、総務課、秘書課、税務課、納税課、総合窓口課、市民協働推進課、会計課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 行政もしくは行政活動、市民	意図（どのような状態にしたいのか） 適正・安定的な行財政運営を行う。
-----------------------------------	---------------------------------------

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

総合計画に掲げた成果指標が目標値を達成できた施策の割合 (%) 企画課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
52.20	34.10	31.70	50.00	70.00	100.00
向上指針	上がると良い	(状況) 指標を確認できる41指標中13指標が令和3年度の目標値を達成しましたが、平成29年度と比較して2.4ポイント低下しました。 (原因) 平成29年度比で、新たに達成した施策が4つ、達成から未達成になった施策が5つです。達成から未達成となった施策のうち3つの施策（交通事故件数、道路の安全、安全な水道水の安定供給）は、数値が若干下がり未達成となりました。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基礎的財政収支指数(プライマリーバランス) 財政課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
1.14	1.17	1.13	1.05	1.10	1.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度と比較して0.04低下しました。 (原因) 既借入分の償還額が新規借入額を大幅に上回っているため目標値である1は超えています。平成29年度と比べると公債費以外の歳出（主に教育費）が増加したため、プライマリーバランス自体は低下しています。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,591,965	2,167,350	2,017,900	1,719,995	2,040,412
人件費	300,192	330,196	405,726	0	0
トータルコスト	1,892,157	2,497,546	2,423,626	1,719,995	2,040,412

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 計画行政の推進	向上	向上			351,193	352,981	353,744	355,344	351,936
02 ICT（情報技術）の活用	低下	低下			195,617	197,669	185,922	207,210	201,600
03 健全な財政運営の推進	向上	向上			387,821	752,387	701,675	397,832	394,440
04 適正課税と収納率の向上	低下	向上			135,472	287,040	144,483	148,151	133,763
05 公有財産の有効活用と適切な管理	横ば	向上			122,185	153,115	135,798	395,987	502,489
06 窓口サービスの向上	横ば	向上			20,901	44,198	36,034	41,042	41,042
99 施策の総合推進					378,776	379,960	460,244	174,429	415,142

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>行政評価の中間評価を活用し、成果目標値の達成を意識した事務事業や施策・基本事業の目標管理の徹底を図る。</p> <p>市債の計画的な活用により、財政負担の平準化、長期的展望による財政運営に努める。</p> <p>ふるさとづくり寄附金募集方式の拡充、使途の見える化を図り寄附拡大に努める。</p> <p>使用料・手数料等の受益者負担の検証結果に基づき、適切な負担水準に改正する。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>行政評価システムの再構築により、平成29年度から年度途中の中間評価を導入し、事業の振り返りや次年度の予算編成に反映できるようになっています。</p> <p>成果指標の数値は微増（前年度比）で推移しているものの目標達成度は低いため、行政評価の意義や成果指標の達成を意識した目標管理を徹底できるようにします。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>引き続き成果目標値の達成率を上げるため、事務事業や施策・基本事業の目標管理の徹底を図る。</p> <p>ふるさとづくり寄附金募集方式の拡充、使途の見える化を図り寄附拡大に努めるとともに、補助金の積極的活用を図る。</p> <p>入力作業などの事務処理の時間短縮につながるよう、RPA、AIの導入に取り組む。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加